

貿易・投資とグローバル化

## G20 の持続可能な開発のための投資円滑化に関する 指針の確立に向けて \*

Axel Berger (German Development Institute)

Ahmad Ghouri (University of Sussex & Turku Institute for Advanced Studies)

石川知子 (名古屋大学)

Karl P. Sauvant (Columbia University, CCSI)

Matthew Stephenson (Graduate Institute, Geneva)

2019 年 3 月 15 日提出

2019 年 3 月 23 日改訂

### 要旨

持続可能な開発を目的として投資を円滑化するための国際的枠組みへの支持が高まっている。本政策提言書は、こうした取り組みが、効果的で首尾一貫した、開発指向の成果を確実にもたらすよう、その一助として、持続可能な開発のための投資円滑化に関する指針の採択についての検討を G20 に提案する。この目的を達成するために、本政策提言書では以下についての指針を提案する。(1) 投資円滑化を方向づけること、(2) 持続可能な外国直接投資 (FDI) を円滑化すること、(3) 投資の全ライフサイクルに投資円滑化を組み込むこと、(4) 多様なステークホルダーと協議すること、(5) 責任の共有を確保すること、(6) 協調的な活動を奨励すること、(7) 政府全体による取り組み (ホールガバメントアプローチ) を採択すること、(8) 多国間の枠組みの中で国内での取り組みに重点を置くこと、(9) 柔軟性を持たせつつ能力育成を支援すること。

---

\* 筆者らは、Richard Baldwin 氏と Chi Manjiao 氏による有益な意見に感謝の意を表する。

## 課題

世界は、持続可能な開発目標を達成するために年間 2 兆 5,000 億米ドルを追加的に調達するという課題に直面している<sup>1</sup>。一方で、運用資産は現在 100 兆米ドルを超えており、2025 年までに 145 兆米ドルを超えることが予想される<sup>2</sup>。従って、不足しているのは資本そのものではなく、持続可能な開発に寄与するような収益性のあるプロジェクトに流れる資本なのである。また、世界の外国直接投資（FDI）のフローは、2015 年の 1 兆 9,000 億米ドルから 2018 年の 1 兆 2,000 億米ドルへと過去 3 年間で 3 分の 1 以上減少した。2018 年の数字は、世界金融危機後の 2009 年以来の低水準である<sup>3</sup>。特に FDI は、資本移動だけでなく、技術移転や、人的資本の能力向上、市場へのアクセス、輸出の増加など、開発の柱になる他のリソースをも伴う可能性がある点で、貿易と同様にウィンウィンの結果をもたらすものであるため、このような減少傾向は一層憂慮される。さらに、FDI の大半はサービス分野へのものであり、従ってサービス貿易と密接に絡み合っている点を考えると、FDI のフロー実績は、G20 の目標達成にサービス貿易が果たす役割に直接影響する<sup>4</sup>。

これに伴い、密接に絡み合った以下の二つの目標が派生する。

- (1) FDI の「流れ」を拡大する方法を考えると、そして
- (2) FDI による「恩恵」を増大させる方法を考えること、である。

## 投資円滑化は、この両方の目標達成への革新的なアプローチとなる

投資円滑化は、異論の余地がない技術的な手段についての国際的な枠組みであり、投資の「量」と

---

<sup>1</sup> UNCTAD, “Developing countries face \$2.5 trillion annual investment gap in key sustainable development sectors, UNCTAD report estimates”, 24 June 2014 Press Release. 以下のサイトから入手できる：

<https://unctad.org/en/pages/PressRelease.aspx?OriginalVersionID=194>

<sup>2</sup> Arezki, Rabah, Patrick Bolton, Sanjay Peters, Frederic Samama, and Joseph Stiglitz. “From global savings glut to financing infrastructure: the advent of investment platforms”, IMF WP16/18, 2016, p. 5. 以下のサイトから入手できる：

<https://www.imf.org/external/pubs/ft/wp/2016/wp1618.pdf>. 2019 年 1 月 8 日にアクセスした。また、PwC, “Global Assets under Management set to rise to \$145.4 trillion by 2025”, 30 October 2017 も参照。以下のサイトから入手できる：  
<https://press.pwc.com/News-releases/global-assets-undermanagement-set-to-rise-to--145.4-trillion-by-2025/s/e236a113-5115-4421-9c7577191733f15f>. 2019 年 1 月 8 日にアクセスした。

<sup>3</sup> UNCTAD, “World Investment Report Annex Tables”, FDI inflows by region and economy, 1990-2017. 以下のサイトから入手できる：<https://unctad.org/en/Pages/DIAE/World%20Investment%20Report/Annex-Tables.aspx>. 2019 年 1 月 25 日にアクセスした。また、UNCTAD, “Investment Trends Monitor”, Issue 31, January 2019 も参照。以下のサイトから入手できる：[https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/diaeiainf2019d1\\_en.pdf](https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/diaeiainf2019d1_en.pdf). 2019 年 1 月 25 日にアクセスした。

<sup>4</sup> Prima Braga, Carlos, Jane Drake-Brockman, Bernard Hoekman, J. Bradford Jensen, Patrick Low, Hamid Mamdouh, Pierre Sauvé, Johannes Schwarzer, and Sherry Stephenson, “Services Trade for Sustainable, Balanced, and Inclusive Growth”, T20, 2019.

「質」を高めることができると広く考えられている。事実上全ての国が投資資本の受け入れと輸出を行っているため<sup>5</sup>、投資円滑化はあらゆる国に利益をもたらす可能性を有している。開発途上国と後発開発途上国は FDI を誘致する能力に欠けることが多い一方で、多くの場合 FDI を最大の資金源としており<sup>6</sup>、こうした国々にとって投資円滑化は特に重要である。投資円滑化は主に FDI を対象とするため、本政策提言書では FDI に焦点を当てる。また、円滑化のための取り組みにより国内の規制制度が改善されれば、国内の投資家にも大きな利益がもたらされるであろう点にも留意すべきである。

### G20 でこの問題を取り上げるべき理由

- 投資円滑化に関しては、国内レベルから多国間レベルのものまで極めて活発な議論が行われており、効果的かつ首尾一貫した開発指向の成果を達成するための高度な指針が必要である<sup>7</sup>。
- T20 は、既に 2018 年の段階においてこのような指針の必要性を認識しており、その策定を呼びかけていた<sup>8</sup>。
- G20 諸国による投資は、世界の FDI の 88% を占めるため、G20 諸国は、投資を円滑化するための国際的な枠組みを支持することに利益及びそれを行うための正当性の双方を有している<sup>9</sup>。

<sup>5</sup> Perea, Jose Ramon and Matthew Stephenson, “Outward FDI from Developing Countries”, *Global Investment Competitiveness Report 2017/2018*, World Bank Group, 2018, pp. 101134. 以下のサイトから入手できる：  
<http://pubdocs.worldbank.org/en/550551508856695853/GICR-04.pdf>. 2019 年 1 月 4 日にアクセスした。

<sup>6</sup> UNCTAD, “World Investment Report 2018: Investment and New Industrial Policies – Key Messages and Overview”. 以下のサイトから入手できる：[https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/wir2018\\_overview\\_en.pdf](https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/wir2018_overview_en.pdf). 2019 年 1 月 4 日にアクセスした。

<sup>7</sup> 2017 年 12 月に、69 の国々が、開発のための投資円滑化に関する多国間の枠組みの開発について WTO の場で論議するよう求めた。“Joint Ministerial Statement on Investment Facilitation for Development”, 13 December 2017, WTO document WT/MIN(17)/59 を参照。以下のサイトから入手できる：  
[https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/FE\\_Search/FE\\_S\\_S009DP.aspx?language=E&CatalogueIdList=240870&CurrentCatalogueIdIndex=0&FullTextHash=371857150&HasEnglishRecord=True&HasFrenchRecord=True&HasSpanishRecord=True](https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/FE_Search/FE_S_S009DP.aspx?language=E&CatalogueIdList=240870&CurrentCatalogueIdIndex=0&FullTextHash=371857150&HasEnglishRecord=True&HasFrenchRecord=True&HasSpanishRecord=True). 2019 年 1 月 4 日にアクセスした。

<sup>8</sup> Berger, Axel, Karl P. Sauvart, Silvia Karina Fiezzoni, Rodrigo Polanco, Matthew Stephenson, Akihiko Tamura, and Pavel Trunin, “Moving the G20’s investment agenda forward”, T20, 2018. 以下のサイトから入手できる：  
<https://t20argentina.org/publicacion/moving-the-g20s-investmentagenda-forward/>. 2019 年 1 月 14 日にアクセスした。

<sup>9</sup> UNCTAD, “FDI outward stock, by region and economy, 2017”. 以下のサイトから入手できる：  
<https://unctad.org/en/Pages/DIAE/World%20Investment%20Report/Annex-Tables.aspx>. 2019 年 1 月 13 日にアクセスした。

- G20 では、2016 年に「グローバル投資政策に関する指導原則」が採択され、2017 年には「アフリカとのコンパクト」が発足した。そのいずれも、投資政策の鍵となる側面として投資円滑化の重要性を強調している<sup>10</sup>。
- 貿易円滑化協定が 2017 年に発効したが、貿易と投資との結び付きがますます強まっている点を考えると、貿易円滑化が投資円滑化とともに行われれば、その効果もはるかに高まるだろう。またその逆も同様である<sup>11</sup>。実際のところ、電気通信、港湾、空港、道路、鉄道などへの投資といった FDI は、貿易円滑化の一種であるとも考えることもできる。

G20 の「グローバル投資政策に関する指導原則」は、国際的な投資政策改革へのきっかけとして重要な役割を果たしてきた。G20 が、この経験を基に、拘束力のない、持続可能な開発のための投資円滑化に関する指針を採択すれば、この重要性を増しつつある分野に関する論議に方向性、輪郭、及び推進力を与えることができる。

## 提案

### G20 は拘束力のない、持続可能な開発のための投資円滑化に関する指針を採択すべきである

(i) 包摂的な経済成長と持続可能な開発のために投資を活用し、(ii) 政策余地と規制に対する主権を維持しつつ、投資政策及び施策が透明、効率的かつ効果的であることを確保し、(iii) 指標となり、グッドプラクティスを示し、国際的な支援を方向づけるような国際的枠組みを構築しつつ、持続可能な開発のための投資を誘致し、活用するための国レベルでの取り組みを支援する、という 3 つの目的に向け、投資円滑化に役立つ取り組みの手引きとして、G20 は以下の拘束力のない指針につい

<sup>10</sup> Principle VII, “G20 Guiding Principles for Global Investment Policymaking”を参照。以下のサイトから入手できる：

<https://investmentpolicyhub.unctad.org/Upload/Documents/Annex%20III%20G20%20Guiding%20Principles%20for%20Global%20Investment%20Policymaking.pdf>. 2018 年 12 月 30 日にアクセスした。

原則 VII では次のように述べている：「投資円滑化のための政策は、経済的便益を最大化するために、効果的かつ効率的であり、投資の誘致と維持を目的とし、投資円滑化のための取り組みと一致するものであるべきである。またその投資円滑化のための取り組みは、透明性を促進し、投資家が事業を設立し、実施し、拡大するのに資するものであるべきである」。また、“About the Compact with Africa”も参照。以下のサイトから入手できる：

<https://www.compactwithafrica.org/content/compactwithafrica/home.html>.

<sup>11</sup> WTO, UNCTAD, OECD and World Bank, “Inter-Relationship between Trade and Investment: Strengthening Policy Coherence”, Discussion Paper for the G20, 2016. 以下のサイトから入手できる：

<http://sherpag20indonesia.ekon.go.id/index.php?r=site/resourceDownload&filename=Inter-relationship%20between%20Trade%20and%20Investment-Strengthening%20Policy%20Coherence.pdf>. 2019 年 1 月 4 日にア

クセスした。

て検討してもよいだろう。

## 1. 投資円滑化を方向づける

投資円滑化は、投資の流れを助けるために、実用的な側面と技術的な手段とに関わるべきである。そのため、投資円滑化においては、投資手段の透明性と予測可能性の向上や、手続の合理化、アクター間の調整と協力の強化など、企業や政府が一般的に関心を寄せ支持する分野に重点を置くべきである。市場アクセスや投資保護、投資家と政府間の紛争解決など、異論が多く対立の起こりやすい分野は、投資円滑化のための取り組みに含めるべきではない。特に、投資円滑化は、政府の政策余地を狭めてはならず、その実施方法にもかなりの柔軟性を持たせるべきものである。関連するところでは、投資円滑化に取り組む際、その過程と内容については、成功裏に採択された貿易円滑化協定についての過去の取り組みが参考になるだろう。また、国際機関の実施した分析作業も同様に参考になるだろう<sup>12</sup>。

**指針 1：投資円滑化においては、投資の流れを助けるため実用的な側面と技術的な手段に重点を置くべきであり、市場アクセスや、投資保護、投資家と政府間の紛争解決などの問題を扱わないことで、政府の政策余地を確保するべきである。この目的に向けて、投資円滑化においては、貿易円滑化協定及び国際機関の経験双方から教訓を得るべきである。**

## 2. 持続可能な FDI を円滑化する

政府が投資を円滑化する際には、利益そのものではなく、開発に対する恩恵を目的として外国投資を求める。その結果、各国は FDI の「量」を増やすことだけでなく、持続可能な開発への寄与度により測定される「質」を引き上げることも目指す。すなわち、求められているのは「持続可能な開発のための持続可能な FDI」である<sup>13</sup>。従って、投資円滑化に関するいかなる国際的な枠組みであっても、一般的な FDI だけでなく、特に持続可能な FDI、つまり商業的に実行可能であると同時に

---

<sup>12</sup> UNCTAD, “Global Action Menu for Investment Facilitation”, May 2017. 以下のサイトから入手できる：  
[https://investmentpolicyhub.unctad.org/Upload/Documents/Investment-Facilitation\\_Review%20Note%203%20feb.pdf](https://investmentpolicyhub.unctad.org/Upload/Documents/Investment-Facilitation_Review%20Note%203%20feb.pdf). 2019年1月14日にアクセスした。また、Novik, Ana and Alexandre de Crombrughe, “Towards an International Framework for Investment Facilitation”, OECD Investment Insights, April 2018も参照。以下のサイトから入手できる：  
<https://www.oecd.org/investment/Towards-an-internationalframework-for-investment-facilitation.pdf>. 2019年1月14日にアクセスした。

<sup>13</sup> Sauvart, Karl P., “International Investment Facilitation: By Whom and for What?”. Presentation to the ICTSD/IDB Roundtable on “Trade Facilitation 2.0 in Regional Trade Agreements: Enabling Trade in the Digital Age”, Geneva, 1 June 2018. 以下のサイトから入手できる：SSRN <https://ssrn.com/abstract=3198412>

経済や社会、環境の発展に最大限寄与する FDI が促進されるべきである<sup>14</sup>。また、円滑化のための取り組みは、適切なガバナンスメカニズム（環境影響調査、ステークホルダーとの協議、リスク管理メカニズムなど）に基づいて行われる FDI を支援するものでなければならない。この文脈において、外国の団体と国内企業との連携を促進することは特に重要である。政府や企業、他の主要なアクターが持続可能な FDI を円滑化するためには、FDI の『持続可能性を支える特性』についての指標のリストを利用することも可能である<sup>15</sup>。

**指針 2：投資円滑化においては、「持続可能な開発のための持続可能 FDI」に重点を置き、特に、商業的に実行可能で、かつ受入国と投資国の持続可能な開発に最大限寄与するような FDI の円滑化を行うべきである。**

### 3. 投資の全ライフサイクルに投資円滑化を組み込む

持続可能な FDI に重点を置くことで、次の 5 段階で構成される FDI のライフサイクル全体にわたって円滑化のための取り組みを組み込むことができる。(1) FDI に関するビジョンや戦略の策定、(2) FDI の誘致、(3) FDI の受け入れと設立 (4) 紛争予防を含む FDI の定着、(5) FDI がもたらす恩恵を増加させるための、外国企業と国内企業との連携強化<sup>16</sup>。重要なのは、このライフサイクルの各段階において投資円滑化の果たす役割があり、それらがそれぞれの段階に組み込まれるべきだということである。投資円滑化に関する議論はこれまで主に (3) の段階、すなわち外国投資の受け入れと設立に関しての受入国の政策及び手続に重点が置かれ、これに比べ、設立後の段階やさらにそれ以降における円滑化の重要性には注意が払われてこなかった。特に重要なのは、投資円滑化が紛争の予防に果たす役割である。これは、こうした紛争自体のコストが高くつく可能性があるだけでなく、再投資と新規投資の両方を妨げる可能性があるためである<sup>17</sup>。各国は、投資に対する障害や苦情が正式な紛争に発展する前にそれを察知し、対処するためのメカニズムを整備し、またそうする

---

<sup>14</sup> Sauvart, Karl P. “We need an international support programme for sustainable investment facilitation,” *Columbia FDI Perspectives*, no. 151, 6 July 2015, p. 1. 以下のサイトから入手できる：

[https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract\\_id=2896212](https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=2896212)

<sup>15</sup> FDI の持続可能性を支える特性について 150 点の協定文書を調べた結果、10 の共通点が判明し、また、ステークホルダーの間に存在する 20 の共通点が新たに判明した。Sauvart, Karl P. and Howard Mann. “Towards an Indicative List of FDI Sustainability Characteristics”. E15Initiative. Geneva: International Centre for Trade and Sustainable Development (ICTSD)及び World Economic Forum, 2017 を参照。以下のサイトから入手できる：<https://ssrn.com/abstract=3055961>。

<sup>16</sup> WBG, “Support Program for Investment Reform and Innovative Transformation: Tools and Diagnostics for Expanding Cross-Border Investment and Maximizing its Impact for the Local Economy”. 以下のサイトから入手できる：

<http://pubdocs.worldbank.org/en/594381510251482638/SPIRIT-Toolkit.pdf>. 2019 年 1 月 6 日にアクセスした。

<sup>17</sup> Allee, Todd and Clint Peinhardt. “Contingent Credibility: The Impact of Investment Treaty Violations on Foreign Direct Investment”, *International Organization*. Cambridge University Press, 65(3), 2011, pp. 401–432. 以下のサイトから入手できる：<https://doi.org/10.1017/S0020818311000099>。

ことで、それに付随する経済的なコストや、評判上のコスト、政治的なコストを回避することができる<sup>18</sup>。

**指針 3：投資円滑化には、投資ライフサイクルの各段階に応じた円滑化のための取り組みを組み込むべきである。**

#### 4. 多様なステークホルダーと協議する

全ライフサイクルにわたって存在する投資円滑化に対するニーズへの理解を深め、円滑化のための取り組みの効果を真に発揮させるためには、ステークホルダー（投資家や投資円滑化機関の代表者だけでなく、学术界や市民社会の関係者も含む。）からの情報やアドバイスが不可欠である。運営及び現場レベルにおける投資の制約を特定し対処する上で、こうしたステークホルダーの意見が役立つ。こうしたステークホルダーとのいわゆる「集团的発見プロセス」と呼ばれる作業を通じて、国際的枠組みに含まれる施策が、FDIの「量」と「質」を高めるという実際の課題に対処するように設計されることを確保することができる<sup>19</sup>。従って、投資家、企業団体、投資円滑化機関がこの協議プロセスの最も重要な構成員となる一方で、全ての関係者からの意見を聴取するために他のステークホルダーも協議に含めるべきである。

**指針 4：施策を立案し実施する際に多様なステークホルダーと協議し協力を進めること、特に投資家、企業団体、投資円滑化機関の代表の意見を取り入れることは投資円滑化に寄与する。**

#### 5. 責任の共有を確保する

ステークホルダーは、円滑化のための取り組みの形成を助けると同時に、その実施の責任も共有する。現在の国際投資協定では、誘致、定着、及び国内経済への影響を含むFDIの管理に受入国政府が主導的な役割を果たす旨が規定されており、投資家の母国の政府や企業の積極的な役割につき規定することはほとんどない。しかし、投資家の母国の政府や企業の間でも、対外FDIの決定とその

---

<sup>18</sup> UNCTAD, “Best Practices In Investment For Development Case Studies In FDI - How to Prevent and Manage Investor-State Disputes Lessons from Peru”, UNCTAD Investment Advisory Series B, 2011. 以下のサイトから入手できる：

[https://unctad.org/en/Docs/webdiaepcb2011d9\\_en.pdf](https://unctad.org/en/Docs/webdiaepcb2011d9_en.pdf). また、Echandi, Roberto. “Complementing investor–state dispute resolution: A conceptual framework for investor–state conflict management”. (Roberto Echandi and Pierre Sauvé (Editors), *Prospects in International Investment Law and Policy: World Trade Forum, 2013*, の pp. 270-305. Cambridge: Cambridge University Press 所収) も参照。以下のサイトから入手できる：<https://doi.org/10.1017/CBO9781139565479.023>.

<sup>19</sup> Sauvant, Karl P. and Khalil Hamdani. “An International Support Programme for Sustainable Investment Facilitation”, p. 2. E15 Initiative. Geneva: International Centre for Trade and Sustainable Development (ICTSD) and World Economic Forum, 2015. <https://ssrn.com/abstract=3143372>

在り方に関わる措置を採択する傾向が強まっている<sup>20</sup>。投資家の母国の政府は、自国企業による対外 FDI の実施方法に関する国内ガイドラインを採択し<sup>21</sup>、また OECD（経済協力開発機構）による多国籍企業行動指針など多国間の取り組みも取り入れている<sup>22</sup>。他方で、企業の側でも、企業の社会的責任に関する独自の行動規範を採択し、責任投資原則など多国間の取り組みも取り入れている<sup>23</sup>。このように、投資家の母国の政府や企業は、持続可能な FDI を円滑化の上でますます積極的な役割を果たすようになってきている。投資家の母国の政府、企業や他のステークホルダーの間で責任を共有するバランスのとれたアプローチによって信頼と協調性が高まり、また投資の引き受けや支持が拡大することで、持続可能な開発が成果をあげる可能性も高まる。

**指針 5：投資円滑化は、ステークホルダー間、特に受入国政府、投資家の母国の政府、及び投資家の間での責任の共有に努めるべきである。**

## 6. 協調的な活動を奨励する

責任の共有を促進し、投資円滑化を推進するための最もわかりやすい方法の一つは、協調的活動、特に受入国と投資国とが協調して活動することである。これには、少なくとも三つの理由がある。第一に、協調的活動は、投資円滑化をめぐるそれぞれの国に存在するニーズと優先順位に関する理解を深め、そうしたニーズや優先順位に直接的かつ効率的に取り組む狙いを絞った施策の実施を可能とする。第二に、協調的活動により、パートナーシップと相互学習を生み出し、検討の余地のあ

---

<sup>20</sup> 投資国による施策の例には、特定のセクター又は市場における投資機会に関する情報、フィージビリティ・スタディへの助成、企業の訪問団及び仲介サービスに対する支援、融資又は出資、財務保証、政治リスク保険、及び海外事業に対する税の減免などがある。Sauvant, Karl P. and Persephone Economou, Ksenia Gal, Shawn Lim and Witold Wilinski. “Trends in FDI, Home Country Measures and Competitive Neutrality”, *Yearbook on International Investment Law & Policy 2012-2013*, New York: Oxford University Press, 2014, pp. 3-107 を参照。以下のサイトから入手できる：SSRN <https://ssrn.com/abstract=2814307>。2019年1月14日にアクセスした。

<sup>21</sup> Sauvant, Karl P. and Howard Mann. “Towards an Indicative List of FDI Sustainability Characteristics”. E15Initiative. Geneva: International Centre for Trade and Sustainable Development (ICTSD)及び World Economic Forum, 2017 を参照。以下のサイトから入手できる：SSRN

<https://ssrn.com/abstract=3055961>。2019年1月4日にアクセスした。一例として、南アフリカ共和国の貿易産業省（DTI）の発行したガイドラインを参照。“Guidelines for Good Business Practice by South African Companies Operating in the Rest of Africa”。以下のサイトから入手できる：

<http://files.constantcontact.com/8360ff0d101/19a99fde-32e7-41dc-a4aef0c1dfba2c75.pdf?ver=1472465496000>。2019年1月5日にアクセスした。

<sup>22</sup> “OECD Guidelines for Multinational Enterprises”を参照。以下のサイトから入手できる：

<http://mneguidelines.oecd.org/mneguidelines/>。2019年1月5日にアクセスした。

<sup>23</sup> 責任投資原則の署名機関は2019年1月現在2,200社を超えている。“PRI Signatories”を参照。以下のサイトから入手できる：<https://www.unpri.org/signatories>。2019年1月5日にアクセスした。

る全ての投資円滑化策の基盤となる信頼を築くことができる。第三に、協調的活動は相互利益を指針とし、相互に恩恵を得るために設計されるものであるから、これにより、ある国が投資円滑化によって他の国より大きい恩恵を受けるのではないかという疑いを払拭する助けとなる。このように、情報を提供し、ボトルネックを特定し、規制を合理化し、施策を調整し、双方向の投資を円滑化し、そして関係国の間で全体としてウィンウィンの投資効果をあげるには、協調的なアプローチが最も効果的である。このような協調的活動は既に始まっている。例えば、(複数の国からの) 対外投資機関や投資円滑化機関による合併事業の組織や、ウィンウィンの双方向投資を支援するための促進活動の展開などである。

**指針 6：投資円滑化においては、それぞれ対内投資と対外投資を行っている投資家の母国と受入国との間での協調的な活動を奨励すべきである。協調的活動は、他のステークホルダーと共同で行うことも、また性質上地域に根差すこともできる。**

## 7. 政府全体による取り組み（ホールガバメントアプローチ）を採択する

外国政府との協調的な活動が効果を発揮するためには、自国の中央政府内に協調と調整が存在しなければならない。しかし、複数の政府機関間の協調や、中央政府と地方政府との協調には課題が多い。ある政府機関が自国の投資政策や国際的なコミットメントについて理解していないために、外国の投資家はその規制行動に悩まされるというケースも多い。それ以外にも、地方自治体や州／県の規制当局の行動が、国家レベルで定めた投資政策と一致していない場合もある。政府全体による取り組みは、開発へ向けて投資を活用しようとする力を弱めるような、こうした意図しない「水平的」及び「垂直的」な規制上の障害を解決するのに役立つだろう<sup>24</sup>。また、政府全体による取り組みにより、投資政策の一貫性と調整の実現に向けた、各機関による立場の違いを超えた協力が確保できる。こうしたアプローチにより、さまざまな政府関係者が協力し、取り組みをより良くするために調整し、政策効果を高め、コストを削減し、競争力を強化し、相乗効果を生み出すことができる。

**指針 7：投資円滑化は、投資に関与するあらゆるレベルの政府と機関が参加し協調する、政府全体による取り組みに基づくべきである。**

---

<sup>24</sup> Ghouri, Ahmad. "What Next for International Investment Law and Policy? A Review of the UNCTAD Global Action Menu for Investment Facilitation", *Manchester Journal of International Economic Law*, 15(2), 2018, p. 203. 以下のサイトから入手できる：<https://www.electronicpublications.org/stuff.php?id=710>.

## 8. 多国間の枠組みの中での国内での取り組みに重点を置く

投資円滑化は、まず政府機関の検討を受けて国内レベルで行われる。この事実は、直前に説明した政府全体による取り組みの必要性を裏付けている。これら政府機関は、円滑化のための取り組みの中核を成す投資に関する規制を策定し実施している。それと同時に、国内での取り組みを二国間や多国間方式のアプローチによって裏付け、それをベースとしてさらに「多階層」のシステムへと積み上げる。特に多国間方式であれば、あらゆる開発段階にある国々の利益とニーズを反映した包摂的な枠組みを生み出せる可能性がより高く、従って、より正当性があり、安定しており、効果も大きい。さらに、投資円滑化のかかる枠組みを、非参加国に対し、最恵国（MFN）ベースで拡大することは、次の二つの理由から、各国にとっても利益となる。第一に、MFN ベースであれば、参加の有無にかかわらずあらゆる国からの対内投資を円滑化できるため、参加国が対内投資を受けられる可能性が高まる（これとは対照的に、非参加国は、円滑化のための取り組みによる対内投資フロー増加の利益を享受できない）。第二に、貿易と投資との統合が進んでいることを考えると、参加国が貿易相手国から受け入れる投資の円滑化にも力を入れれば、その国が投資円滑化のための枠組みに参加しているかどうかにかかわらず、貿易相手国との貿易により利益を得られる可能性が高まる。貿易円滑化協定に MFN ベースを適用することを決定したのも、これと同じ論理だろう。貿易と投資によって生み出され得る利益が顕在化されれば、投資円滑化に MFN ベースを適用するインセンティブともなるだろう。

**指針 8：投資円滑化は、まず国内での取り組みに重点を置き、また、包摂的なプロセスを通して全ての国により策定され全ての国の利益となるよう設計され、また、その成果が MFN ベースで適用されることを確保する形での、本質的に多国間的な枠組みの中で行われるべきものである。**

## 9. 柔軟性を持たせつつ能力育成を支援する

前述の八つの指針が効果を発揮するためには、十分な能力育成と柔軟性が不可欠である。その理由は、円滑化するための措置を特定し、交渉し、採択し、実施するための能力が国及び経済地域により異なるからである。このため、投資円滑化の枠組みを成功させるためには、そのプロセス全体を通して能力育成を支援し、これを発展段階の異なる参加国のそれぞれの枠組みに組み込まなければならない。貿易円滑化協定の成功例からもわかるとおり、柔軟性と支援とを組み合わせることが成功への鍵になる。開発途上国と後発開発途上国は、(1) コミットメントを履行するのに必要な期間を決め、(2) コミットメントを行う条件として技術支援を求め、(3) コミットメントを変更する期限又は猶予期間を設けることで恩恵を受けることができる。さらに、貿易円滑化協定では、(4) 必要に応じてコミットメントの履行又は管理について助言する専門家グループの設置、並びに (5) ドナー機関及び国際機関が技術援助を行わない場合はこれを受け取る手段、について規定している。能

力育成と柔軟性を組み合わせたこの処方箋は、貿易円滑化においてはうまく機能したため、必要に応じて修正し投資円滑化にも応用することができるだろう。それにより、あらゆる国が議論に参加し、枠組みに参加するために必要な柔軟性の恩恵を受けることができる。

**指針 9：投資円滑化は、開発段階の異なる国々が投資円滑化のための取り組みに対等な立場で参加し、こうした取り組みから等しく恩恵を受けることができるよう、円滑化施策の開発から実施までのプロセス全体を通して、能力育成を組み込むべきである。投資円滑化においては、開発段階の異なる国々の参加に向け、そのコミットメントの履行に柔軟性を持たせるべきである。**

## 展望

G20として、貿易・投資作業部会（TIWG）の議題に投資円滑化を追加するよう求め、2019年6月8日に開かれる貿易・デジタル経済大臣会合でこの問題に取り組む旨のコミットメントを行うことを提案してもよいだろう。そうすれば、グローバル投資政策に関する指導原則及び「アフリカとのコンパクト」を土台にし、投資円滑化により投資フローの水準とこれによる利益がどの程度増えるのかについて TIWG で検討できる。また、TIWG が投資円滑化のための取り組みへの技術支援を行うよう国際機関、特に UNCTAD（国連貿易開発会議）や、世界銀行グループ、WTO、OECD に要請してもよい。TIWG はまた、この政策概要に含めた「持続可能な開発のための投資円滑化に関する指針」の草案を本提案書に含めることを検討しても良いだろう。かかる指針が採択されれば、G20として、その実施を支援するよう国際機関に要請することも可能になるだろう。

## 参考文献

- Allee, Todd and Clint Peinhardt. “Contingent Credibility: The Impact of Investment Treaty Violations on Foreign Direct Investment,” *International Organization*. Cambridge University Press, 65(3), 2011. Available at: <https://doi.org/10.1017/S0020818311000099>
- Arezki, Rabah, Patrick Bolton, Sanjay Peters, Frederic Samama, and Joseph Stiglitz. "From global savings glut to financing infrastructure: the advent of investment platforms." IMF WP16/18, 2016. Available at: <https://www.imf.org/external/pubs/ft/wp/2016/wp1618.pdf>.
- DTI (Department of Trade and Industry), Republic of South Africa. “Guidelines for Good Business Practice by South African Companies Operating in the Rest of Africa”. Available at: <http://files.constantcontact.com/8360ff0d101/19a99fde-32e7-41dca4ae-f0c1dfba2c75.pdf?ver=1472465496000>.
- Echandi, Roberto. “Complementing investor–state dispute resolution: A conceptual framework for investor–state conflict management”. In Roberto Echandi and Pierre Sauvé (Editors), *Prospects in*

*International Investment Law and Policy: World Trade Forum*, 2013. Cambridge: Cambridge University Press. Available at: <https://doi.org/10.1017/CBO9781139565479.023>

- European Parliament. “The European Union and the World Trade Organisation”, Available at: <http://www.europarl.europa.eu/factsheets/en/sheet/161/the-european-union-and-the-world-trade-organisation>.
- G20. “Guiding Principles for Global Investment Policymaking”, 2016. Available at: <https://investmentpolicyhub.unctad.org/Upload/Documents/Annex%20III%20G20%20Guiding%20Principles%20for%20Global%20Investment%20Policymaking.pdf>.
- Ghouri, Ahmad. “What Next for International Investment Law and Policy? A Review of the UNCTAD Global Action Menu for Investment Facilitation”, *Manchester Journal of International Economic Law*, 15(2), 2018. Available at: <https://www.electronicpublications.org/stuff.php?id=710>
- Moran, Theodore, Holger Görg, Adnan Serić, and Christiane Krieger-Boden. “How to attract Quality FDI?”, *G20 Insights*, 28 April 2017. Available at: [https://www.g20insights.org/policy\\_briefs/attract-quality-fdi/](https://www.g20insights.org/policy_briefs/attract-quality-fdi/).
- Novik, Ana and Alexandre de Crombrugghe. “Towards an International Framework for Investment Facilitation”, OECD Investment Insights, April 2018. Available at: <https://www.oecd.org/investment/Towards-an-international-framework-for-investment-facilitation.pdf>
- OECD (Organisation for Economic Co-operation and Development), “Multilateral Agreement on Investment”, Available at: <http://www.oecd.org/investment/internationalinvestmentagreements/multilateralagreementoninvestment.htm>.
- OECD. “OECD Guidelines for Multinational Enterprises”. Available at: <http://mneguidelines.oecd.org/mneguidelines/>.
- Perea, Jose Ramon and Matthew Stephenson. “Outward FDI from Developing Countries”, *Global Investment Competitiveness Report 2017/2018*, World Bank Group, 2018. Available at: <http://pubdocs.worldbank.org/en/550551508856695853/GICR-04.pdf>.
- PRI (Principles for Responsible Investment). “PRI Signatories”. Available at: <https://www.unpri.org/signatories>.
- Prima Braga, Carlos, Jane Drake-Brockman, Bernard Hoekman, J. Bradford Jensen, Patrick Low, Hamid Mamdouh, Pierre Sauvé, Johannes Schwarzer, and Sherry Stephenson, “Services Trade for Sustainable, Balanced, and Inclusive Growth”, T20, 2019.
- PwC (PricewaterhouseCoopers). “Global Assets under Management set to rise to \$145.4 trillion by 2025”, 30 October 2017. Available at: <https://press.pwc.com/News-releases/global-assets-under-management-set-to-rise-to-145.4-trillion-by-2025/s/e236a113-5115-4421-9c75-77191733f15f>. Accessed 8 January 2019.
- Sauvart, Karl P. “We need an international support programme for sustainable investment facilitation”, *Columbia FDI Perspectives*, no. 151, 6 July 2015.

Available at: [https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract\\_id=2896212](https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=2896212)

- Sauvants, Karl P. “International Investment Facilitation: By Whom and for What?”. Presentation to the ICTSD/IDB Roundtable on “Trade Facilitation 2.0 in Regional Trade Agreements: Enabling Trade in the Digital Age”, Geneva, 1 June 2018.  
Available at: SSRN: <https://ssrn.com/abstract=3198412>
- Sauvants, Karl P. and Persephone Economou, Ksenia Gal, Shawn Lim and Witold Wilinski. “Trends in FDI, Home Country Measures and Competitive Neutrality”, *Yearbook on International Investment Law & Policy 2012-2013*, New York: Oxford University Press, 2014. Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=2814307>
- Sauvants, Karl P. and Khalil Hamdani. “An International Support Programme for Sustainable Investment Facilitation”, E15Initiative. Geneva: International Centre for Trade and Sustainable Development (ICTSD) and World Economic Forum, 2015.  
Available at: <https://ssrn.com/abstract=3143372>
- Sauvants, Karl P. and Howard Mann. “Towards an Indicative List of FDI Sustainability Characteristics”. E15Initiative. Geneva: International Centre for Trade and Sustainable Development (ICTSD) and World Economic Forum, 2017.  
Available at: <https://ssrn.com/abstract=3055961>
- UNCTAD (United Nations Conference on Trade and Development). “Best Practices In Investment For Development Case Studies In FDI - How to Prevent and Manage Investor-State Disputes Lessons from Peru”, UNCTAD Investment Advisory Series B, 2011.  
Available at: [https://unctad.org/en/Docs/webdiaepcb2011d9\\_en.pdf](https://unctad.org/en/Docs/webdiaepcb2011d9_en.pdf)
- UNCTAD. “Developing countries face \$2.5 trillion annual investment gap in key sustainable development sectors, UNCTAD report estimates”, 24 June 2014 Press Release. Available at: <https://unctad.org/en/pages/PressRelease.aspx?OriginalVersionID=194>
- UNCTAD. “Investment Policy Framework for Sustainable Development”, 2015. Available at: <https://investmentpolicyhub.unctad.org/ipfsd>.
- UNCTAD. “FDI outward stock, by region and economy”, 2017. Available at: <https://unctad.org/en/Pages/DIAE/World%20Investment%20Report/Annex-Tables.aspx>.
- UNCTAD. “World Investment Report Annex Tables”, FDI inflows by region and economy, 1990-2017.  
Available at: <https://unctad.org/en/Pages/DIAE/World%20Investment%20Report/AnnexTables.aspx>
- UNCTAD. “Global Action Menu for Investment Facilitation”, May 2017. Available at: [https://investmentpolicyhub.unctad.org/Upload/Documents/InvestmentFacilitation\\_Review%20Note%203%20feb.pdf](https://investmentpolicyhub.unctad.org/Upload/Documents/InvestmentFacilitation_Review%20Note%203%20feb.pdf)
- UNCTAD. “World Investment Report 2018: Investment and New Industrial Policies – Key Messages and Overview”, Available at: [https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/wir2018\\_overview\\_en.pdf](https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/wir2018_overview_en.pdf).
- UNCTAD. “Investment Trends Monitor”, Issue 31, January 2019.  
Available at: [https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/diaeciainf2019d1\\_en.pdf](https://unctad.org/en/PublicationsLibrary/diaeciainf2019d1_en.pdf)

- WBG (World Bank Group). “Support Program for Investment Reform and Innovative Transformation: Tools and Diagnostics for Expanding Cross-Border Investment and Maximizing its Impact for the Local Economy”. Available at: <http://pubdocs.worldbank.org/en/594381510251482638/SPIRIT-Toolkit.pdf>.
- WTO (World Trade Organization). “Joint Ministerial Statement on Investment Facilitation for Development”, 13 December 2017, WT/MIN(17)/59. Available at: [https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/FE\\_Search/FE\\_S\\_S009-DP.aspx?language=E&CatalogueIdList=240870&CurrentCatalogueIdIndex=0&FullTextHash=371857150&HasEnglishRecord=True&HasFrenchRecord=True&HasSpanishRecord=True](https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/FE_Search/FE_S_S009-DP.aspx?language=E&CatalogueIdList=240870&CurrentCatalogueIdIndex=0&FullTextHash=371857150&HasEnglishRecord=True&HasFrenchRecord=True&HasSpanishRecord=True).
- WTO. “Structured Discussions on Investment Facilitation, Communication by Brazil”, 31 January 2018. Available at: [https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/FE\\_Search/FE\\_S\\_S009-DP.aspx?language=E&CatalogueIdList=241891&CurrentCatalogueIdIndex=0&FullTextHash=371857150&HasEnglishRecord=True&HasFrenchRecord=False&HasSpanishRecord=False](https://docs.wto.org/dol2fe/Pages/FE_Search/FE_S_S009-DP.aspx?language=E&CatalogueIdList=241891&CurrentCatalogueIdIndex=0&FullTextHash=371857150&HasEnglishRecord=True&HasFrenchRecord=False&HasSpanishRecord=False).
- WTO. “Trade Facilitation”, Available at: [https://www.wto.org/english/tratop\\_e/tradfa\\_e/tradfa\\_e.htm](https://www.wto.org/english/tratop_e/tradfa_e/tradfa_e.htm)
- WTO, UNCTAD, OECD and World Bank. “Inter-Relationship between Trade and Investment: Strengthening Policy Coherence”, Discussion Paper for the G20, 2016. Available at: <http://sherpag20indonesia.ekon.go.id/index.php?r=site/resourceDownload&filename=Inter-relationship%20between%20Trade%20and%20InvestmentStrengthening%20Policy%20Coherence.pdf>.